

(株)SDSホールディングス2026年3月期
連結決算資料

東証スタンダード コード1711



2026年6月

- ☑ リノベ事業、セカンダリー太陽光発電事業が伸長し、**全セグで大幅増収増益**
- ☑ **連結売上高は過去最高、営業利益・EBITDAは過去最高益を大幅更新**
- ☑ **連結経常利益は黒字化**を達成
- ☑ **データセンター事業へ参入**し、売上を計上、今期利益貢献を狙う
- ☑ HARUMI TRUSTを100%子会社化、今期、**投資関連事業を開始**へ

SDSグループの主要事業

グループ構成とセグメント

2026年3月期連結業績概要

連結主要利益指標推移

2026年3月期セグメント別業績

2027年3月期連結業績予想

事業ポートフォリオ

成長戦略

SDSグループの主要事業

エネルギー・データセンター事業(省エネ関連事業)

メガソーラーによる
売電事業

セカンダリー再エネ発電所
リノベ・流通事業

データセンター関連事業

省エネ関連事業

2024年より、千葉県市原市にて、メガソーラーを保有し、売電収入により、安定的な収益を確保してきました

2025年より、低圧太陽光発電設備の流通事業を行い、収益に貢献しております

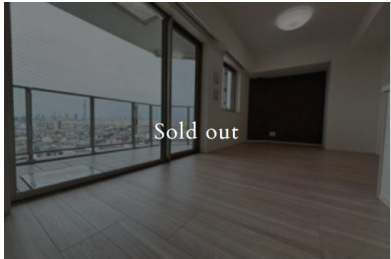
2026年より、データセンター構築事業を新たに開始しております

半導体関連工場など大手企業の脱炭素工事への需要に対応します



リノベーション事業

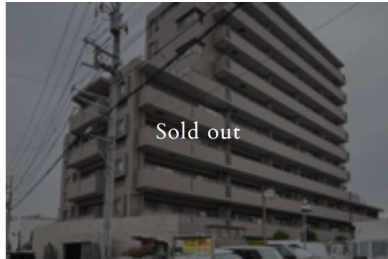
リノベ・物件販売



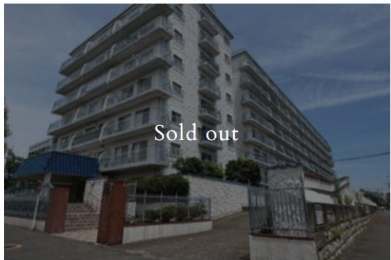
プレシス堀切菖蒲園



クリオ川崎小田公園壱番館



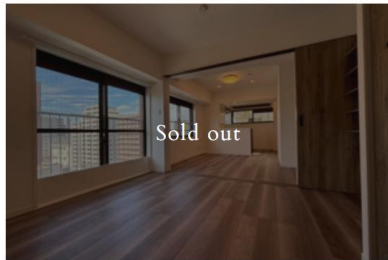
クリオ湘南茅ヶ崎



秀和高円寺レジデンス



グランセリーナ



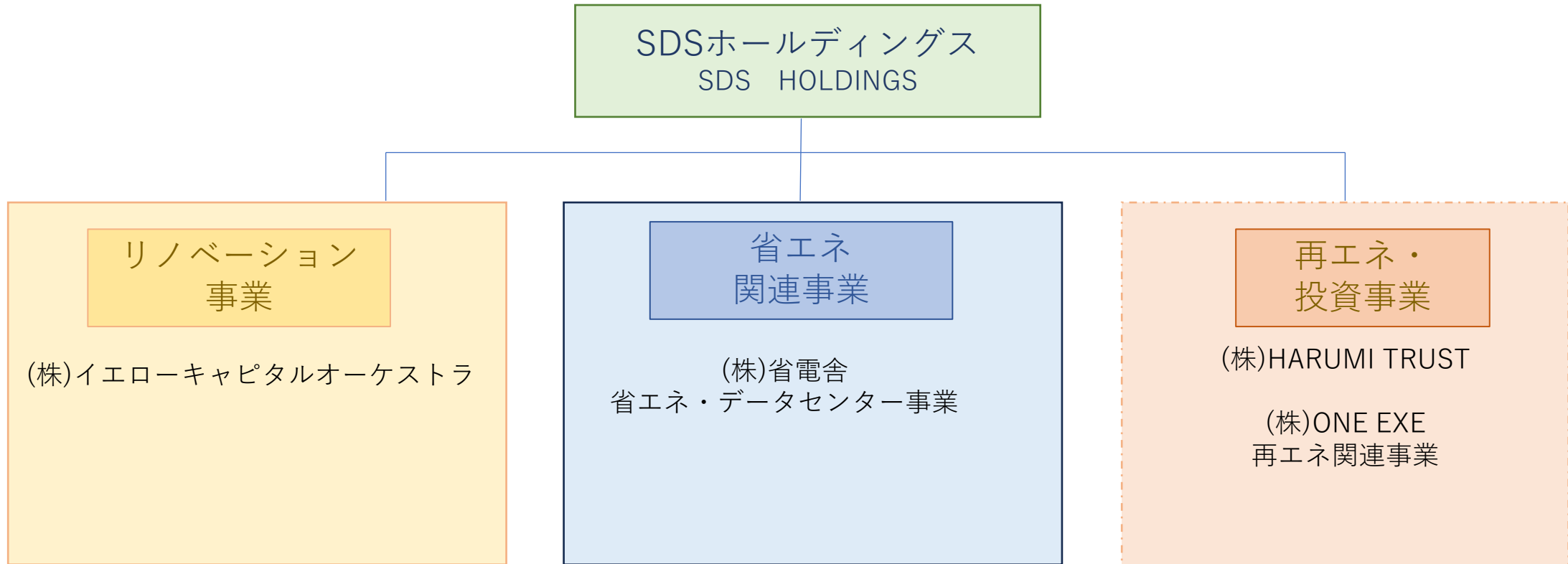
ルーブルかな杉

賃貸事業



太陽光発電設備付 アパート事業





2026年3月期連結業績概要

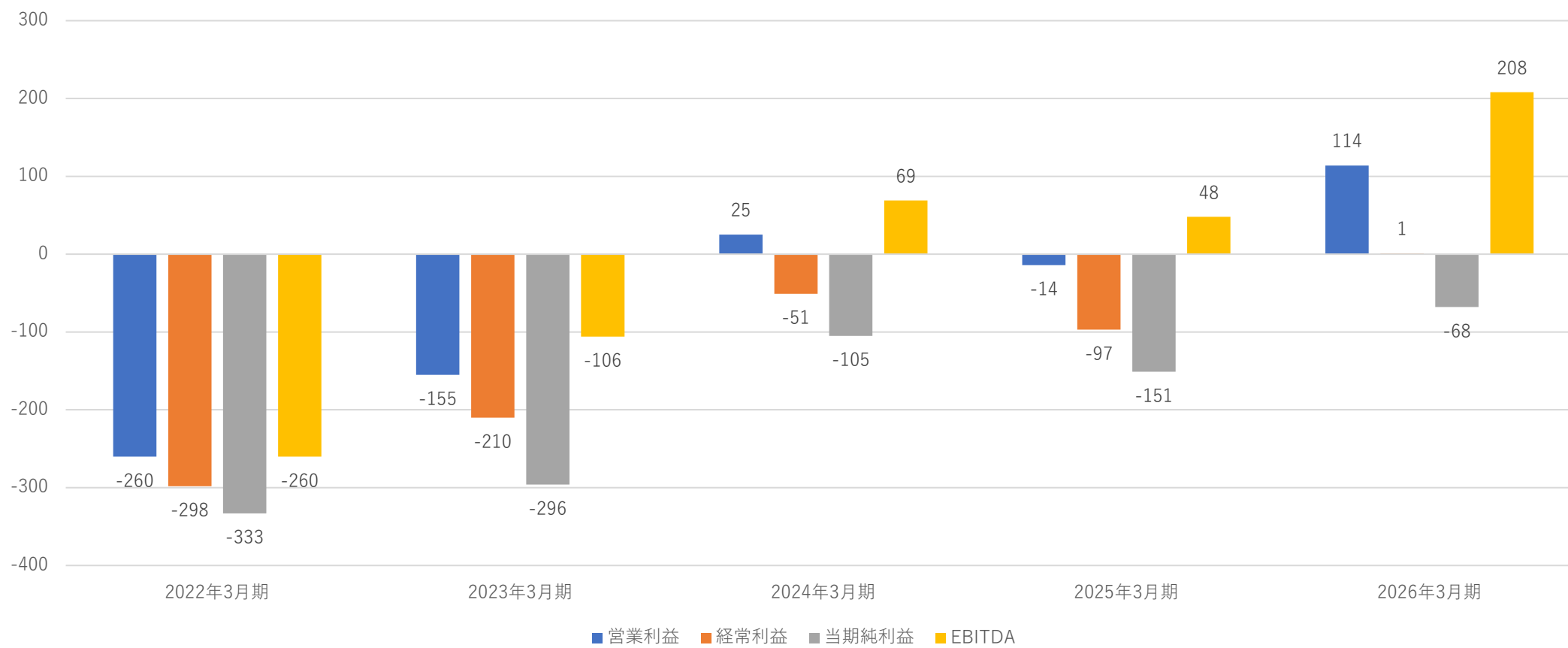
- 売上高は過去最高、50億円台に到達
- 営業利益は過去最高益を大きく更新し、1億円を超え、EBITDAは2億円台へ
- 経常利益は株主優待コスト等を吸収し、初の黒字を計上

単位：千円

	2026年3月期	売上比	対前年比	2025年3月期	売上比	対前年比
売上	5,251,516	100%	30.1%	4,035,492	100%	
売上総利益	818,514	15.6%	54.7%	529,251	13.1%	
販売管理費	703,869	13.4%	29.4%	543,942	13.5%	
営業利益	114,644	2.2%	黒字化	-14,691	—	
EBITDA	208,073	4.0%	328.6%	48,652	1.2%	
経常利益	1,030	0%	黒字化	-97,208	—	
親会社に帰属する 当期純利益	-68,458	—	—	-151,714	—	
総資産	5,638,210		19.8%	4,705,055		24.1%
自己資本	584,388		-3.7%	606,934		-9.0%
自己資本比率	10.4%			12.9%		

連結主要利益指標推移

- 2023年3月期から3年で営業利益は△155から114の黒字へ
- 2024年3月期から、2年間で営業利益は4.5倍、EBITDAは3倍に
- 2026年3月期、経常利益は2022年3月期の△3億円から初の黒字化へ



単位：百万円

2026年3月期セグメント別業績

- エネルギー/DC事業、リノベ事業共に、大幅増収増益を達成
- エネルギー事業は、セカンダリー太陽光関連ビジネスによって利益率が大きく改善
- データセンター事業は工事進行基準によって売上に寄与
- リノベ事業は販売単価の維持によって、大幅増収となり、コスト上昇を吸収

		2024年3月期	2025年3月期	前期比	2026年3月期	前期比
省エネ関連事業 (エネルギー・DC事業)	売上	890,719	689,627	-22.6%	896,006	29.9%
	セグメント利益	92,980	51,051	-45.1%	121,943	138.9%
	利益率	10.44%	7.40%	-3.04%	13.61%	6.21%
リノベーション事業	売上	3,245,118	3,345,864	3.1%	4,355,510	30.2%
	セグメント利益	124,289	145,766	17.3%	228,097	56.5%
	利益率	3.83%	4.36%	0.53%	5.24%	0.88%

単位：千円

2027年3月期連結業績予想

- データセンター・蓄電池関連事業への本格参入
- エネルギー・AI関連等への投資事業、既存アセット見直しで収益力向上へ
- エネルギー事業は、セカンダリー太陽光関連事業の拡大、大手企業の脱炭素需要が継続
- 経済環境の不透明さから、リノベ含む建設コストの上昇を想定

	2027年3月期	売上比	対前年比	2026年3月期	売上比	対前年比
売上	6,170,000		17.5%	5,251,516	100%	30.1%
売上総利益	990,700	16.1%	21.0%	818,514	15.6%	54.7%
販売管理費	870,700	14.1%	23.7%	703,869	13.4%	29.4%
営業利益	120,000	1.9%	4.7%	114,644	2.2%	黒字化
EBITDA	213,000	3.5%	2.4%	208,071	4.0%	328.6%
経常利益	74,000	1.2%	71.8倍	1,030	0%	黒字化
親会社に帰属する 当期純利益	6,600	0.1%	黒字化	-68,458	-	-

単位：千円

ハイテク工場向け

省エネ

災害対策

BCP等

データセンター

施設構築

省電舎

食品工場

衛生管理

データセンター

冷却システムを利用した

省エネルギー提案

M&A・投資

HARUMI TRUST

ONE EXE

太陽光

セカンダリー事業

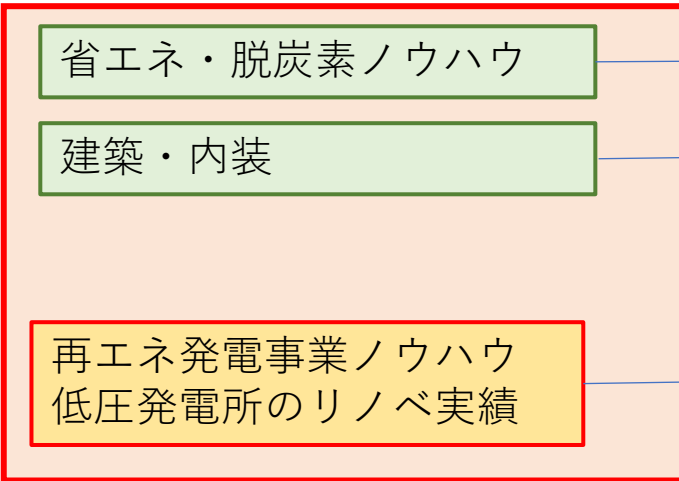
リノベ賃貸

YCO

リノベ販売

成長へのステップ

- エネルギーイノベーションを成長の柱に
- 自社ノウハウが、データセンター・蓄電所へ転用可能
- 有力パートナーの開発



消費電力の節約

電力の効率化

エネルギーイノベーション

AIデータセンター事業
消費電力を抑制できる冷却システムの活用

蓄電池・蓄電所事業
既に把握している低圧太陽光発電設備を活用し、
低圧蓄電所を100か所以上開発へ

検討中